



学校応援隊はえばる

令和2年7月15日

第96号

地域の子どもをみんなで一緒に育てましょう！

できる人が・できることを・できるときに
南風原町地域学校協働活動推進事業

『平和学習特集号』～平和について語りついでいこう！そして一緒に考えよう～

南風原の学童疎開

～もうひとつの沖縄戦～

や～さん・ひ～さん・しから～さん
(ひもじい・さむい・さびしい)

南風原小4年 6月1日 津嘉山小5年 6月28日

宮崎県に疎開を体験した金城シズ子さん（津嘉山）をお招きして、南風原文化センター学芸員の平良次子さんのインタビューによる学童疎開体験のお話を聞きました。

学芸員 前城さん 平良さん
金城シズ子さん 津嘉山小校長(左より)

対馬丸沈没事件証言講話 平良啓子さん

北丘小4年・翔南小5、6年 6月21日
南風原小4、5、6年・南星中1、2、3年 6月22日平良啓子さん(左)
南風原小学校長

対馬丸沈没事件証言者の平良啓子さんをお招きしてお話を聞きました。コロナ禍のため文化センターからのオンライン授業にしたり、特別教室から各教室へのリモート授業で行うなど工夫して行いました。

平良さんは「戦争はやるもの、勝つのも負けるのも何の意味もありません。無残な事しか残りません。いい思い出ひとつもありません。だから戦争は絶対にしてはいけません。」と話していました。

児童から「本当に戦争は忘れられない悲しいものだと感じました。これからずっと平和を守っていけるようにしたいです。」と感想がありました。

平和や命の大切さについて考える

翔南小6年 6月24日



講師：大城逸子さん

翔南小6学年では、大城逸子さんから沖縄戦に関する講話をいただきました。ガイドになったきっかけや体験者のお話、戦後の沖縄、南風原の様子など、平和の尊さ命の大切さを学びました。

児童から「戦後の子供はどんな遊びをしていたか」など質問に丁寧に答えていただきました。

大城さんは「平和はあたりまえではない」ということを児童へ伝えていました。

絵本朗読を通した低学年の平和学習

平和朗読「首里」 南風原小1、2、3年 6月22日
翔南小2年 6月25日

平和朗読「首里」の皆さんに、沖縄戦や平和の絵本を朗読し「皆さんはどんな時に平和を感じる？」と問い合わせ、児童は「お友達と遊ぶこと、家族とご飯が食べられること。」と答えました。また、慰霊の日の意味を教えてもらった児童は「23日はちゃんと黙祷をしたいです。」と話していました。

南風原平和ガイドの会

「戦争体験紙芝居・絵本の読み聞かせ」

津嘉山小1年 6月22日・2年 6月29日 翔南小1年 7月6日



津嘉山小・翔南小の低学年は、平和ガイドの会の皆さんにご協力いただき、陸軍病院20号壕についてのお話と「戦争体験紙芝居・絵本の読み聞かせ」をしていただきました。児童からは「日本とアメリカはなぜ戦争したの？」「戦争の時、何を食べたの？」など質問がありました。講師の皆さんには、低学年児童に合わせて丁寧に答えていただきました。



平良京子さん



福原ツヤ子さん



宮良和代さん

あなたも学校の応援団になりませんか？ボランティア募集中！
★未来を担う南風原町の子どもたちを地域で育てましょう★

南風原町教育委員会
生涯学習文化課
TEL 889-0568

平和がいつまでも続きます様に！